

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築
ロータリーの源流へ』

会長 吉野 敬之
幹事 堀田 一彦

創立 1986 年



第1668回例会

令和3年6月3日(12:30～13:30)

○ソング

- 国歌（君が代） ●奉仕の理想

○スマイルBOX

- 吉野敬之会長（3週ぶりの例会開催という事であらためまして例会の大切さを知る事が出来ました。残り少ない例会を十分に楽しみたいと思います。本日回顧を発表していただきました皆様一年間本当にありがとうございました。）
- 堀田一彦幹事（各委員長の皆さま1年間ありがとうございました。）
- 金田昇会員（吉野・堀田年度も最終月となりました。あとひと月楽しんでまいりましょう。）
- 安部和夫会員（明日72才になります。ますます元気です。おいしそうなケーキありがとうございます。）
- 居川孝男会員（吉野会長、堀田幹事あと1ヶ月ですネ！なんとかコロナウイルスがおさまリ、月末には大慰労会をしたいですネ！）
- 成井正之会員（吉野会長、堀田幹事ラスト1ヵ月です。コロナに負けず頑張りましょう。五月は例会場中止で四月末の結婚記念祝の御礼をすることができなかったのが、スマイルします。ありがとうございました。）
- 小林義勝会員（皆さん、お久しぶりです。結婚記念日に美しい花ありがとうございました。妻も大変喜んでいました。）
- 高島裕会員（誕生日と結婚記念日のお祝いありがとうございます。自転車なのにまさかのケーキでした。居川パスト会長、IMの後に色々あったようですがここだけの話、私は吉野派ではなく居川派ですから安心してください。）
- 鈴木孝幸会員（遅れましたが、5月の結婚記念のお花、ありがとうございました。今もまだ綺麗にリビングをかざってくれています。）
- 根本あゆみ会員（先月は誕生日のお祝いありがとうございました。6/1より通常営業を再開しました。何かの折にご利用いただければ幸いです。）
- 永野文雄会員（皆様お久しぶりです。小委員会の委員長さんご苦勞様でした。又、発表ありがとうございました。）

▶第1668例会出席状況 (R3年6月3日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	50名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	64名
Ⓒ ①の出席者数	32名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	6名
Ⓔ ②の出席者数	11名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	49名
Ⓕ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	61
Ⓖ = ⑥ / ⑦ × 100 (例会出席率)	80.3%

▶例会日:第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場:白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局:〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



吉野敬之会長

皆様、こんにちは。本年も、最終月となりましたロータリークラブ例会のほうにご出席いただきまして、誠にありがとうございます。3週間ぶりの例会開催ということで、私もちょっと落ち着かずに通常より10分も早く会場のほうに出席してしまいました。毎週毎週のルーティーンとなっておりますこの例会がやはり途切れるということは、通常の生活のペースが乱れるということで、やはりこういうふうに実際に例会を開催できますと、普段当たり前であったものがこの休会によりまして、いかに自分たちにとって大切なものだったんだろうなということが実感できる機会でもあったかと思います。去年の中目パスト会長の年に続き、今年度も1月とこの5月と3回の例会を中止するに至りました。願わくば来年は、このような事情で例会が中止になるようなことがないように是非願っておりますし、そのためにも皆さん一日も早くワクチンを打てるといいなと願っております。この休会の期間中にインターシティミーティングのほうが開催されまして、中にはユーチューブの配信のほうで出席いただいた方もいらっしゃるかと思います、インターシティミーティングの会場のほうには、わたくし、幹事、それと次年度分区ガバナー補佐の金田さん、それと中目さんというふうな形で伺いさせていただきます、いろいろと貴重なお話をお聞かせいただきました。それと、2800地区の地区大会のほうは中止というご案内が最初流れていたんですが、リモートのほうで予定通り6月5日、今週末に開催されるということでもあります。わたくし共の姉妹クラブであります米沢中央ロータリークラブ輩出の齋藤榮助ガバナーが主幹としてやられるということでございますので、本来であればわたくしたちが伺いして一緒に応援を送るというような形を取りたいと思っておりましたが、なかなかそういうわけにはいかないということで、せめてこちらのほうもリモートでの出席ということでございますが、お時間何とか作って皆さんにご出席いただければというふうに思っております。早いものでもう一年が経ちまして、今週からいよいよプログラムが一年間の回顧ということで小委員会から徐々に入っていきます。なかなか、このコロナ禍ということで予定しておりました活動ができなかったり、集まりができなかったりと不自由な面もあったかと思いますが、その中でもやはり皆さん方が集まって、いろいろなお話をしたり議論したりという中で、新たな気付きや人と人の間柄というもの1センチでも2センチでも前に進んだ一年であればいいなというふうに思いますし、またそのために私たち執行部が少なからずお力添えができたなら更に嬉しいなと感じたりするところでございます。皆さん方には是非その辺の単純に年間活動ということではなくて、この一年間の皆様を感じた様々な事を合わせてご報告いただけると、回顧にふさわしいプログラムになるなというふうに思いまして期待しております。今日は、皆様の発表を楽しみにしておりますので、よろしくお願いします。

■幹事報告

堀田一彦幹事

○国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室：第4回ク

ラブ・地区支援室メッセージ (2020-21 Q4)

- ガバナー事務所：【開催方法の変更について】日本のロータリー100周年を祝う会
- ガバナー事務所：第2回職業奉仕委員会セミナー資料
- 一般財団 比国育英バギオ基金 会長 多田宏、総務担当副会長 斉藤実、幹事 平塚隆志：「バギオだより」配布のお願い
- ガバナー事務所：RIバーチャル台北国際大会のプログラムのお知らせ
- 日本のロータリー100周年を祝う会 実行委員会委員長 千玄室：日本のロータリー100周年を祝う会記念式典・祝賀会オンライン視聴のご案内
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒秀司、地区史編集委員長 鈴木邦典：地区史「10年のあゆみ」ご購入のお願い
- 白河ユネスコ協会 会長 小野利廣：令和3年度白河ユネスコ協会書面総会の結果について
- しらかわ駅伝競走大会実行委員会 会長 鈴木和夫：第26回しらかわ駅伝競走大会大会実行委員会総会の開催
- 県南分区ガバナー補佐 遠藤武士、県南分区IM実行委員長 近藤均、矢吹ロータリークラブ 会長 横山栄子：県南分区IMフォーラムについて
- 会津分区ガバナー補佐 渡部栄一、IM実行委員長 中村岳嗣：会津分区インターシティミーティング記録ご送付
- ガバナー事務所：地区史「10年のあゆみ」ご購入追加文書をお願い
- 国際ロータリー日本事務局 事務長 小林宏明：RI日本事務局 財団室NEWS 2021年6月号
- ガバナー事務所：【今後のYouTube視聴アドレスについて】日本ロータリー100周年を祝う会記念式典・祝賀会
- 国際ロータリー日本事務局 事務長 小林宏明：国際ロータリー日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区2020-21年度ガバナーエレクト事務所：地区研修協議会・会長資料について
- ロータリーの友委員会 委員長 社団法人ロータリーの友事務所 代表理事 鈴木宏：新型コロナウイルス感染症に関する友対応の件 (第11報の続報)
- 国際ロータリー日本事務局業務推進・IT室：ロータリー親睦活動月間リソースのご案内
- 国際ロータリー第2530地区2020-21年度ガバナー石黒秀司、RLI委員会 委員長 鈴木和夫：ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) 第3期パートⅡ開催のご案内
- 白河ユネスコ協会 会長 小野利廣：令和3年度白河ユネスコ協会会費納入について (依頼)
- 国際ロータリーデータサービス部：2021年7月クラブ請求書の作成にあたってのお願い
- 国際ロータリー第2530地区 県南分区ガバナー補佐 遠藤武士：新旧役員合同会議のお知らせ
- 米沢中央ロータリークラブ 会長 小野欣也、幹事 島貫正弘：「地区大会」について (ご連絡)
- 2021-2022D2530県南分区 ガバナー補佐 金田昇：会長幹事会の開催について
- 2020-2021年度 会長 福島昭、幹事 高田幸生、担当 20周年実行委員会委員長 平井博：深谷ノースロータリークラブ創立20周年記念開催中止について

- 白河市国際交流協会 会長 内藤義久：令和3年度「白河市国際交流協会総会」の開催について（通知）

■委員会報告

○親睦委員会

- ・結婚記念日
小林義勝会員、齋藤孝弘会員
横田俊郎会員、高畠裕会員
緑川直人会員、水上泰真人会員

・誕生日

- 安部和夫会員、山口治会員、高畠裕会員
兼子聡会員、増子国安会員

井上敬裕委員



○雑誌広報委員会

村上堅二委員長



皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会の村上でございます。最後になりますけれども、皆さんに是非「ロータリーの友」を熟読していただければなというふうに思います。

今回は親睦活動月間ですが、メインは環境ということでホルガー・クナーク会長のほうもお話をしております。横組みの3ページですね。会長のメッセージということで、「ロータリーは機会の扉を開く」というふうなテーマを作ったわけですが、今年ほど変化が変わった本当に変わった年はなかったという形ですね。逆にいうと、皆さんと直接顔を合わせることがないにしても、いろんな意味で遠くの方に合えとか、そういった大きな機会の扉を開いたかなというふうなお話がありました。それから横組みの8ページですね。今回は、環境問題という形で考えております。8ページからは、グローバル補助金を使ったりサイクル、そしてソーラーライト、水の循環、水の保全、持続可能な農業という形のもの、あとエコストープ、クリーンエネルギーという形であります。グローバル補助金を使っているいろいろな形で、いろいろな地区に対してロータリーが貢献してますということ載ってますので、是非ご熟読いただければと思います。今回あと横組みの17ページが環境のほうで、環境の重点分野では次のような活動にグローバル補助金を活用していますということで出ております。是非お読みいただいて、うちのクラブからもグローバル補助金出していただければなというふうに思っております。そして横組み19ページ、今回は台湾の特集になっております。本当は世界大会が台湾台北のほうである予定でしたが、今期はリモートということで、台湾のいろんな紹介、あとは日本に対しての気持ちとかそういったものが記載となっておりますので、是非お読みいただければと思います。それから22ページからは、「侃侃諤諤」という形のもので、今回のコロナに対してどのように考えてるのか。それをどう捉えて機会としているのかが、いろんな事例が載っ

ておりますのでご覧いただければと思います。24ページのほうに、相馬ロータリーの佐伯様のほうのコメントが入っておりますので、是非お読みいただければと思います。横組み26ページは、ロータリーのプロジェクトという形で世界のいろんなプロジェクトが載ってますので、これもまたご熟読いただければと思います。それから横組み32ページ、2530地区のガバナーのほうからの地区大会のお話がありますので、是非これを見ていただければなというふうに思います。よろしく願いいたします。横組みの「ポール・ハリスとロータリー」という形で、連載コミックが毎月載っているんですけども、今月は「親睦と奉仕」とその奉仕団体という形でロータリーは考えているんですけど、何故なったのかということがわかりやすく載っておりますので、是非お読みいただければなというふうに思います。それから、縦組みのほうへ行きます。縦組みの4ページ、これは環境問題という形で、今回、庄内平野のクロマツの保護という形のお話載っております。それから縦組みの9ページは、これは釧路北ロータリークラブの中島様という方が、スポーツ等を通じて町を元気にするために高校生とNPO法人を作ったという形で頑張っておられるとありますので、是非ご参考にしていただければなと思います。そして、最後になりますけれども、縦組み56ページ、今回は渋沢栄一が繋ぐ縁で被災神社の支援という形で、白河西ロータリーと深谷ノースロータリーの姉妹クラブ締結の記事が載せられております。今回は福島沖地震によって被害に遭った当クラブの南湖神社のほうに、深谷ノースのほうから支援をしていただいたという形の記事が載っております。こういった形でロータリーの友に載ることも少ないですし、逆にいうと、何をやったかにをやったという形のものを出てくるんですけども、こういった形で感謝という形のもの載せていただいたというのは非常に深谷ノースに対しても感謝できるのかなというふうに思いました。

■本日のプログラム

一年回顧 小委員会

○シスター委員会

兼子聡委員長



皆さん、こんにちは。シスター委員会のほうから委員会の回顧をさせていただきます。本来であれば、今月末に深谷ノースさんとの調印式と周年事業に参加する予定でございましたが、それが残念ながら中止になってしまいました。本当に今年度は、姉妹クラブに35周年のPR活動をメインに事業計画を立てておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で十分な活動ができませんでした。ワクチン接種が進み、早く姉妹ロータリーとの方々との交流が来年度はできるようにご祈念をいたしまして、シスター委員会の回顧とさせていただきます。ありがとうございました。

○会員増強委員会

山田顕一郎委員長



皆さん、こんにちは。会員増強委員会でございます。今年度は、吉成真五郎会員、増子国安会員、瀬谷隆志会員、永山龍大郎会員、水上泰真人会員、石川格子会員と、現時点で6人の増強ということで、先日オンラインで会員増強セミナーがあったんですが、その中で

見た限りでは福島県内のロータリーの中でも一番沢山会員が増えたロータリーの一つということで名前が挙がっております。あと、一人二人ちょっとまだ引っかかっている人がおりますので、もう一人でも二人でも増やせるように頑張りたいと思うんですが、私はほとんどというか皆さんご存じだと思うんですが、吉野会長と他の諸先輩方の多大なご協力をいただきまして、ひとえに吉野会長自ら動いてくださった結果でございます。大変こういう言い方しては申し訳ないと思いますが、大変勉強させていただきました。あと一か月ありますので、最後まで頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。一年間、ありがとうございました。

○ロータリー情報委員会

山口治委員長



改めまして、皆さんこんにちは。ロータリー情報委員会回顧ということなんですけれども、今年もロータリー情報委員会、基本的に二つの事業を予定しておりました。一つ目は、先週の例会において白河ロータリークラブ所属でパストガバナーの鈴木邦典氏を招聘しての卓話を予定しておりましたが、皆さんご存知のように例会のほう中止になってしまいまして、その予定事業も頓挫してしまったという残念な結果になってしまいました。先程、ちょっと次年度の中目プログラム委員長さんとお話をしまして、できれば次年度どっかに鈴木邦典パストガバナーを招聘しての卓話をお願いできればというお話をさせていただきましたので、もしかすると来年実現するかもしれません。もう一つは、今年度は沢山の新人会員が入会しましたので、会長のほうからも是非新入会員セミナーをしてやってほしいという依頼がありました。これもまた、大体5月の後半から6月の頭に予定していたわけなんですけれども、次年度の金田ガバナー補佐とも話して、誰かやはり講師を呼んでやるのがいいんじゃないかなという話をしておったんですけれども、こういう状況でさすがに人を集めるということがちょっと難しい状況になったということで、本当に残念なんですけれども今年度はロータリー情報委員会としては結局は何にもできなかった一年でした。ロータリー情報委員会委員長というのは、基本西ロータリークラブでは一生に一回しかありませんので、非常に私も残念なんですけれどもそういった結果になってしまいました。ロータリーの情報の基本中の基本は、「ロータリーの友」を読むということです。そちらのほうで皆さん一生懸命ロータリーのほうを勉強をしていただければなと思います。

○クラブ会報委員会 三瓶徹委員長（代読：堀田一彦幹事）



三瓶委員長の代わりに代読させていただきます。本年度のクラブ会報委員会の活動ですが、まず委員長の私がコロナ禍も含め、諸事情により例会にほとんどと言っていいほど出席することができず申し訳ありませんでした。このような状況で、副委員長の渡部会員を中心として委員の方々に写真撮影、会報の校正をおこなっていただき、皆様のお手元に会報を届けることが出来たかと思います。この場をお借りして委員会の皆様には感謝申し上げます。そして委員長として、また白河西ロータリーの会員として、この一年お役に立てなかったことをお詫び申し上げます。

○雑誌広報委員会

村上堅二委員長



雑誌広報委員会の村上でございます。今年度、雑誌広報委員会の委員長を務めさせていただきました村上でございます。池田副委員長、そして横田委員の3人で一年間活動させていただきました。「ロータリーの友」というのはこういった形で、本当に読む機会がなかなかなかったんですけども、今まで上っ面だけを読んでいた形なんですけども、今回のように担当になるとじっくり読み込むという形になった時に、そういった機会をまず与えてくれたことに感謝申し上げますと共に、今、雑誌の内容というのは非常に深いものがあるので、一つのロータリーのバイブルみたいなものですから、是非じっくりとお読みいただくことをお願いしたいなと思ってます。できるだけ皆さんにわかりやすく説明することに努力したんですけども、なかなか本質までは伝えられなかったことが実感だと思います。それから、最初の目標でありました記事の掲載ですが、今月に何とか一つだけ記事にさせていただきました。特に今回の内容は、姉妹ロータリーの深谷ノースへの感謝の言葉という形の記事でした。そういった意味では非常に友情を深めたこともできまして、そういった事に感謝しています。一年間の回顧とさせていただきます。本当にありがとうございました。

○IT委員会

鈴木典雄委員長



皆さん、こんにちは。IT委員会の鈴木でございます。一年回顧を発表いたします。本年度のIT委員会は、ホームページの管理のほか新型コロナウイルス感染症の流行により、感染症対策の一環として例会が通常の会場での開催とズームでの配信による開催のハイブリット例会が行われるようになり、急遽当委員会のズーム配信の設営を仰せつかりました。私を含め委員会メンバーはズームに参加したこともなく、まして設営などできるのか不安になりましたが、諸橋会員のご指導のもと少しづつ理解しながら設営を重ねてまいりました。このような状況の中で、当初は何もわからず設営していたので会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。温かい目で見守っていただいたおかげで35周年式典では委員会メンバー協力のもと、そして諸橋会員の協力のもと、無事にズーム配信を終えることができました。最後になりますが、横田会員、十文字会員、矢田部会員の委員会メンバーの皆様、そして諸橋会員には大変お世話になりました。

○米山記念奨学会委員会

佐藤幸彦委員長



皆さん、こんにちは。米山記念奨学会委員会からの報告を申し上げます。当委員会は、副委員長に安部和夫パスト会長、委員に関谷パスト会長、島田修一会員の4名で行うことができました。当初予定しておりました地区大会の米山ナイトに参加予定でしたが、同じく新型コロナのために参加することができませんでした。また、奨学生のチョウさんに関しましては、カウンセラーの阿部さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。また寄付のほうでございますが、今年は吉野会長と前原会員の2名が功労者としてご寄付をいただきましてありがとうございました。

いました。尚且つ、全会員より五千円の寄付をいただきました関係者の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

○スマイルボックス委員会

小林義勝委員長



皆さん、こんにちは。今年度、スマイルボックス委員会の委員長を仰せつかりました小林です。一年回顧をさせていただきます。今年度は、佐川京子委員、湊洋子委員、永野文雄パスト会長と私の4人で担当月を決めて活動してきました。コロナウイルス感染症が蔓延している中で、ハイブリット例会または例会が休会になったりして条件の厳しい一年でしたが、毎週快くスマイルしていただいた会員の皆様のご協力のおかげで何とか終えることができました。最後になりますが、委員会の皆さんには一年間大変お世話になりました。この場をお借りして感謝を申し上げたいと思います。

○出席委員会

大住由香里委員長



皆さん、こんにちは。出席委員会の大住です。一年回顧させていただきます。副委員長に、松永会員。委員に、石部会員、渡部会員という形でお願いして一年間やらせていただいたんですけども、当初、会長と幹事のほうから出席率の計算の仕方だったりとかそういうものを教えていただいて、皆さんで関わっていただけると思っていたんですけども、委員長である私のほうから委員の皆さんに、皆さんというか先輩の方々にアドバイスを受けることなく一年進んでしまったことが反省点でありまして、もっとやればもっともっと出席率が上がったのではないかなと反省しております。ただ、コロナ禍の中でもハイブリット例会だったりがありまして、出席率としては平均で70%以上になっていたようなので、1月2月ちょっと低迷した部分もあったんですけども、全体的には出席率は良くご協力いただけたのかなと思います。毎週、メールのほうで次回の案内という形で私のほうもプログラム委員会の方々とか、担当例会の担当の方と連携を取ってサブタイトルなどを付けてやるはずだったんですけども、なかなか最初のほうだけであとは出欠ボードを見て提出するという形になってしまったので、そこをもうちょっとやれたらなと思って反省しています。

○プログラム委員会

齋藤孝弘委員長



皆さん、こんにちは。プログラム委員会の一年間の回顧を行います。「35周年目の再構築 ロータリーの源流へ」をもとに、年度当初プログラムを構成させていただきました。主に月間テーマに沿った例会、各委員会との連携、市内のトップリーダーの卓話、クラブ内での新入会員の卓話、そして35周年の事業の準備式典に合わせた例会を心掛けてプログラムを構成しました。正直、コロナ禍がこれほどまで長く続くとは思いませんでしたので、プログラムも普通にこなせるのかなとこういうふうに考えておりましたが、ご存知のとおりコロナ禍で中止とかが増えまして、都度プログラムを変更したりとかいろいろ大変なこともあり

ました。その中にはありましたが、8月には金融保険関係で横田さん、藤田さんに「ウィズコロナ共存、金融からみた今後」などのテーマで卓話をいただきました。専門知識のメンバーによるわかりやすい内容で良かったと感じております。10月には、会員卓話としまして製造物流関係の櫻岡会員、緑川会員に「コロナ禍で製造、物流現場の変化と今後」で卓話をいただきました。物流が滞ると一般生活がままならない現代に、現状の苦労がわかる例会でありました。10月には、若手経営者をゲストに卓話をいただきました。「わくわくする若手経営者の話」という題名でお二人に来ていただきました。「東陽電気工事」の石川格子社長と東地区の「山口こうじ店」の山口様に体に良い発酵の話聞かせていただきました。石川格子さんにつきましては当クラブのメンバーということになりましたので、会員増強にも一躍かっているのかなと感じております。4月には会長からの強い要望で、白河市長鈴木和夫氏をお招きしまして白河市政についてのご講演をいただきました。白河市だけでなく栃木県北広域に渡る連携などの話で、わくわくするような気持ちで聞いていた感じがします。コロナ禍の中、中止、延期等々が多数ありましたが、皆さんにご迷惑おかけしたことをこの場でお詫び申し上げます。一年間、吉野会長のために頑張ってまいりました。ありがとうございました。

○地区出向ロータリー財団委員会

金田昇会員



こんにちは。R I 第2530地区の財団委員会に出向しました。吉野会長のためというより、石黒ガバナーのために頑張ってまいりましたので、簡単ですがご報告いたします。財団の活動とか手続きとか単語、用語関係が非常に難しく、どのクラブでもどんな会員でもそのところが把握しづらい。財団は難しいという概念があると思います。感覚があると思います。その中で、財団委員会に出向しまして何ができるのか、何をしなくちゃいけないのかということがありました。委員会としての活動は、早川委員長さんがほとんど取り仕切っていただいて、いろんな勉強会の様相でした。2回の財団セミナー、それから先日新旧財団委員長の引継ぎ会というのがありまして、そういうものに参加しましてなんとなくR Iとの関係、財団との関係、それから財団で何をやっているのかということがよくわかってきましたし、財団の必要性というんですか。R I、ロータリークラブ活動の根幹となる資金を調達するということと、その資金の使い方ということに関して勉強してきました。なかなか難しい用語だったり、あとはスケジュールですか、手続きの仕方、それからスケジューリングとか、いろんなものが難しかったですが大体頭に入ってきたのかなというふうに思いました。そんな中で、次年度のガバナー補佐という大役を仰せつかる上で、委員会に出向しましていろんなことを勉強してきたことが良かったかなと思いますし、また財団って地区でもメインになる委員会ですので、その中でいろんな地区の役員の方達とのコミュニケーションを取ることができました。そんな中で、次年度の地区の財団のほうに矢田部錦四郎会員を推薦しましたところ受けていただいて、財団活動を来年一緒にやってくれるということになりました。これから、財団委員会を通したのと同時に地区のほうに出向していろんな人脈を作りながら、白河西ロータリークラブの会員も

いろいろな地区の役員だったり委員会だったり、いろんな所に出向する力もありますので、是非そういうところに関して、も次年度以降いろんな計画を立てていただけたらというふうに思います。また、財団委員会で勉強してきましたので、来年以降、寄付だけではなくてDDFと言われる地区補助金の有効な使い方をしながら、それをクラブの財団委員長と一緒にしっかり申請をし、奉仕活動の一環に役立てていけたらというふうに思います。なかなかズームとリモートの会議が多かったのですが、地区に出向してから委員会とかいろんな会合はズームって非常に便利です。それを感じました。会津からいわき相双から皆さんが集まってということになるとなかなか難しいんですが、リモートを通して意見交換したり、その中でも友情を分かち合ったりすることができました。一年間、いろいろ勉強させてもらいましたので、来年に繋がれるようなことにしたいと思います。

○ゴルフ愛好会

運天直人会長



皆さん、こんにちは。ゴルフ愛好会から皆様のほうにご連絡を差し上げます。6月6日、日曜日ですね、那須霞ヶ城でゴルフ、最後の第4回コンペを行います。今、22名参加をいただいておりますので、最後の会長と一緒にゴルフをさせていただいて、みんなで楽しんでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○吉野敬之会長

約5分ほど、お時間がありそうな感じでございます。前に私、PTA会長をやっていた時に、当時の校長先生、後の市の教育長になられました伊藤先生という方がいらっしゃったんですけど、PTA会長の挨拶をする時にいつも小声で口元でいうんですね。「吉野さん、一番最初の挨拶が長いと、あとが全部長くなるからね。」と。暗に短く挨拶しろということをお話をされていました。「ウエディングプラザ鹿島」に仕事でお付き合いをさせていただいた時に、やはり同じようなことを言っていました。一番最初の人の長さが、後の人の挨拶の長さ決まるんですよ。今日、一番最初に回顧を発表されたのは、シスター委員会の兼子委員長だったかと思います。非常に短くて簡潔ではございましたが、多分この5分の時差を作ったのはすべて兼子君の責任だと思っております。幸いなことに兼子君はこれから6月22日に、最後の深谷ノースさんとの懇親会といいますか、深谷ノースさんが表敬訪問という形の時期がありますので、ここで最後に私に本当にお世話になりましたという気持ちが1ミリでもあるんでしたら、精一杯やっていただければ非常に嬉しいなと思っております。なかなか発表の時間というのはびったりいかないというのは当たり前でございまして、オーバーするぐらいの時もあるし、そういうのもまた嬉しいということではございますが、今日皆さんの報告を聞かせていただいて、たまたま会長という立場ですとこういうふうにいろいろお話をしたり、皆さんからお話いただいたりという中で一年間過ごさせていただくわけですけども、もうパスト会長が半数を占めるこの会ではもう当たり前ですけど、会長が偉いわけでも何でもございませ

ん。たまたまその年の代表として、しっかりやれよということで代表を務めさせていただくわけですけども、その中でも、今年私はこういう形でやりたいという思いを取りあえずお伝えした中で動いていただくわけですけど、今日発表していただいた中で、再来週また回顧で触れさせていただく機会があるので、多くはあまりお話はできないんですけど。IT委員会の鈴木委員長におかれましては、これほど予定が狂った委員長もいないんじゃないかと。最初に、「IT委員長、また頼むわ。」「何をやればいいんですか。」「ホームページの更新とか、そんな感じじゃない。」と言ってたんですけど、去年の12月頃から様子が変わりまして、どうやら配信をしなければいけないというようなことになりまして、結局それから100パーセント出席ですね。最初の頃、ズーム会議があまりうまくいかず、私も知り合いなものですからこれがあんまり親しくなければそこまで言わないんでしょうけども、結構きつく言って典雄君の目に涙がちらっと光った瞬間は、私は自分を責めたりもしましたが。そういった中で、本当に構築させていただいて結果的にズームで出られる方というのは、それほど多くはなかったんですけど、やっぱりそういった新しいスキル、新しい形をこのクラブにもたらしにくれたし、そういうことを一生懸命やった典雄君の中できっと何かが変わったのではないかなというふうに思いますし、信じていかな、だといいなというふうに思っております。確実にやっぱり人は人の行動を見てるもので、私よく言われます。「いやー、典雄君よく来てるね。」「あいつ、ほとんど休まないんじゃない。」「やっぱりそういうふうに見てるということは、それだけ典雄君の行動を皆さんがしっかり見て評価してるということだと思いますので、男を上げたなというふうに思います。きっと典雄君の会社のほうにもいろいろとお仕事が無駄に込んできてるのではないかと期待しております。本当にすべての委員会におかれて、何が成果で何が成果じゃないということの評価基準はロータリーにおいてはいいんじゃないかなというふうに思っております。それを通して自分ができるように成長できた、知識も含めてですけど成長できたかということが、やはりこういう団体活動の一つの評価基準になるべきだと思いますし、きっとそうだというふうに信じております。そういう意味では、今年一年間、様々な形で活動をしていただいた方達にはきっとそういった成長が見られたと思いますし、それは多分ご自分の財産になられたかと思えます。わたくしがどうこうと言うことより、やはり皆さん個人自分自身がしっかりとやった結果だというふうに思っております。最後に、やはり同級生の齋藤委員長が僕のことを考えてこんなに一生懸命にしてくれたんだと、とても感謝しております。

